

2020年9月28日
京都大学 情報環境機構

後期より対面授業が徐々に再開され、一日を通じて受ける授業として、対面授業とオンライン授業が混在することが想定されます。また、対面授業においては同時にオンラインを併用する「ハイブリッド(ハイフレックス)型授業」の形態をとる場合があります。このような状況において、キャンパスで授業を受ける場合には以下の点について注意するようお願いします。

1. 自習スペースからオンライン授業に参加する場合

- 音漏れのしないヘッドセット(イヤフォンマイクなど)を利用する。
(100円ショップで100円~300円程度で販売されているものも悪くはないが、事前にマイクの品質を含め性能を確認しておくこと。[[参考動画](#)])
- 発言する可能性のある授業は、声出しが禁止されていない自習スペースから参加するとともに、発言時に自分の声が大きくなりすぎないようにマイクの近くで話す等の配慮をする(自分の声の大きさを把握するために、片耳のみのヘッドセットを利用する方法もある)。
- 発言しないときは、必ずマイクをミュートしておく。

2. オンラインを併用する対面授業に教室で参加する場合

- 教室の中で画面を手元で見るためにZoomに接続しても構わないが、必ず音声接続は切っておくこと。
- 教員により教室内でZoomに接続することが求められた場合には、以下を原則とした上で教員の指示に従うこと。
 - ▶ 音漏れのしないヘッドセット(イヤフォンマイクなど)を利用する。
 - ▶ 必ずマイクをミュートしておき、発言を認められたときだけマイクのミュートを解除して発言する。

※ 音声接続を切っておく方法

マイクはミュートし、スピーカはOFF(音量を0)にすることで可能であるが、Zoom接続時に「コンピュータでオーディオに参加」をスキップして音声接続を行わないことが確実。接続してしまった場合は「コンピュータオーディオから退出」で音声接続を解除することができる。(教室の中で複数の端末のマイクやスピーカがONになっていると、音が回り込んでエコーやハウリングの原因となる。)

なお、キャンパスでは、これまでよりネットワーク等の無線通信の利用頻度や利用者数が増えることが予想されます。無線LAN(Wi-Fi)や無線ヘッドフォン(Bluetooth)は同じ周波数帯域を利用しており、周囲での利用が増加することで無線通信が混み合い、無線LANの通信速度が遅くなったりすることで、オンライン授業の音声や映像が途切れる場合があります。その対策として、以下の点について協力をお願いします。

- 利用しない端末の無線LAN機能(スマートフォンのテザリング機能を含む)はOFFにする
- 可能であれば有線ヘッドフォンを利用する

また、Bluetoothヘッドフォンを利用する場合は、バッテリーがなくなると端末側で自動的に内蔵スピーカに切り替わり、急に音が出て周囲に迷惑をかける可能性があるため、バッテリーの残量にも十分注意してください。